








教材教具名 ピーマンの成長記録	教科 (作業学習)	情報提供者 (中学部)
-----------------	-----------	---------------

教材教具写真

 <p>4がつ28にち</p> 	 <p>5がつ12にち</p>  <p>大きくなってほしい 14センチ</p>	<p>6がつ9にち</p> 	 <p>6がつ16にち</p>  <p>46センチ</p>
---	---	---	---

教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

- 1 ねらい
 - ピーマンの生長を楽しみにできるようになる。
 - 前回より茎がどのくらい伸びたか、メジャーで測ることができるようになる。
- 2 発達段階など
 - 数の認識があり、何センチか測ることができ、記録を取ることができる生徒。
 - ただ漠然と植物の苗を植えて、収穫までの作業を進めるのではなく、自分が植えたピーマンを認識させて、毎時間の生長を意識させるなかで、収穫の喜びを感じさせたかった。
- 3 使い方
 - 前回までの写真と、茎が何センチだったのかを記録したプリントを準備して行く。
 - メジャーで茎の長さを測り、記録する。
 - 新しく撮った写真と長さを足して、次回までにプリントを作成する。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)

- 写真を撮るときに大きさの比較ができるような物を、横に置き、一緒に撮ればよかったと思う
- 毎回記録を取ったために、一学期末ころになってやっと自分が植えたピーマンが認識できるようになり、実が付いたときの喜びは大きかった。
- 一学期末にアルバムにして渡すことによって、保護者の方にも学習した内容がよくわかり、喜ばれた。
- 本人の直筆のメモが残るような形にできたらもっとよかったのではないかと思います。
- 生徒の実態によっては、記録等を取ることが難しくても、生長していく様子に興味をもってくれればそれでもよいのではと思う。